

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～28℃台を示し、やや高めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の23%。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり8kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり46kgの水揚げで、前週の3.5倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり114kgの水揚げで、前週の1.5倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり160kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり218kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり124kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり62kgの水揚げ（前年並み）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/10～7/14の4日間）沖合イカ釣、冷凍船は大和堆付近に出漁。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-18号 6県ケンサキイカ情報（令和3年6月号）」を公表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

次回の漁海況週報は、令和3年7月30日（金）の発行になります。